

旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」のご案内

「ぱれっと」はきれいな色をつくりだす道具です。「ぱれっと旭」は、地域福祉保健活動に
素敵な「色」をつける場所でありたいという願いが込められた施設です。
施設利用は無料ですが（一部機材は有料）、ご利用には事前登録が必要です。

■利用に必要な事前登録をするには？

- 次の団体による福祉保健活動などの会議・研修・講座・打合せにご利用いただけます。
- ボランティア団体（録音グループ、手話サークル、学習支援グループなど）
 - 当事者団体（セルフヘルプグループ、リハビリの会、家族会など）
 - その他の福祉保健推進団体（地区社協、区民児協、地区民児協、保健活動推進員、NPO団体など）
- 利用登録のためには以下の書類をご提出ください。
- ①利用登録申請書 ②会則 ③会員名簿 ④団体の活動内容がわかるパンフレットやチラシなど

■利用予約をするには？

利用希望月の6ヶ月前の最初の平日から予約を受付けます。

■予約初日の窓口受付

- ・午前9時～午前9時15分：使用許可申請書の提出受付
※先着順ではありません
※重複がない場合は予約決定／重複の場合は抽選
- ・午前9時15分以降：受付順で予約決定

■電話受付

- ・予約初日の13時より受付順で予約決定

■ご注意

- ・6ヶ月前からの予約は週2回までとします。
週3回以上の利用分は利用希望月の2ヶ月前の最初の平日から受付けます。

詳しくは旭区社会福祉協議会までお問い合わせください。



80名が着席可能な多目的
修室



視覚障害者向けの収録を
行う録音室

..... 善意銀行 寄付者一覧

次の皆さまから善意銀行へご寄付をいただきました。ありがとうございました。

平成29年9月1日～平成29年12月31日＜順不同・敬称略＞

<金品寄付>

内田 忠夫、荻窪 邦昭、公益社団法人神奈川県LPガス協会横浜旭保土ヶ谷支部、一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会、旭区子育て広場 ぽけっと、都岡町内会、ヘアメイクファンジョン、伊藤 志壽江、鶴ヶ峰本町婦人部、ヨガサークル ロータス、佐藤 公則、匿名2件

<物品寄付>

神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部、有限会社 今野蔦興業、林 正男、地域作業所ミコミコカンパニー、二俣川住宅自治会、折原 起司子、渡辺 秀蔵、目黒 サキ、宮地 美奈子、平本 成子、米倉 洋子、横浜市今宿西地域ケアプラザ、櫻井 美代子、鈴木 三好、東島 智恵子、下川井町内会、特別養護老人ホーム かわしまホーム、旭区更生保護女性会、今宿東町町内会、美寿々会、上の原幼稚園、上の原保育園、長島 孝子、飯田 達也、溝口 真実子、希望が丘東地区社会福祉協議会、鶴ヶ峰本町婦人部、左近山地区社会福祉協議会、旭ふれあいコール、深瀬 千代子、匿名2件

編集後記

- 97号編集にあたり、取材にご協力いただきました皆様には本当にありがとうございました。これからも各地区の活動をもっと皆様に紹介できたらいいと思います。これからもよろしくお願いいたします。【吉田 澄子】
- 初めての広報委員ですが、一人でも多くの方に読んでいただけるよう務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。【長谷川 貴子】

広報委員 (地区名)

委員長:渡邊 敦子(白根)／相澤 明子(川井)／吉田 澄子(上白根)／長谷川 貴子(希望が丘中)／安部 きみ子(希望が丘東)／佐川 三男(万騎が原)／尾野 憲司(二俣川ニュータウン)／内田 三好(旭南部)／中川 士郎(市沢)

No. 97
平成30年3月1日発行

旭区社協だより

あさひ いきいき宣言

発行・社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35 ぱれっと旭内

旭区社協だより

あさひ 「この町が好き」と言えるまちづくり

いきいき宣言



発行：社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35 ぱれっと旭内

TEL045(392)1123 FAX045(392)0222

E-mail asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp

旭区社協 検索

この広報誌は「赤い羽根」の

共同募金の配分金で発行しています。

わたしたちは通称：「旭区社協」といいます！

「旭区社協」は、社会福祉法第109条に規定されている民間団体で、横浜市や旭区役所などと連携して社会福祉を目的とする事業を展開し、また、みなさまの福祉活動の応援・援助を行い、計画的に地域福祉活動を進めています。



特集 若手世代が大活躍！ 将来の地域の担い手が育っています



▲K.K.ネットまつりに参加した南希望が丘中学校の生徒たち

防災訓練への参加や、高齢者・障害者施設でのボランティア活動、地域イベントの手伝いなど、いま中学生を中心とした若手世代が大活躍しています。地域活動への参加機会を創出して、次世代の人材育成につなげる取り組みがおこなわれています。



詳しくは2・3面へ

地域と学校が一体となった防災訓練 【旭中学校】

災害が発生した時、避難所活動などを担う若い力として、中高生が大きな存在となります。また中高生にとっても、いざという時に役立つ訓練が必要です。そうした観点から、地域防災拠点である旭中学校では、平成19年より防災安全教育の一環として二俣川ニュータウン地区と合同で防災訓練が行われています。本年度で11回目となった取り組みを終え、校長先生と旭中防災拠点運営委員会委員長は大きな手応えを感じています。



▲毛布と物干し竿を使った担架救助訓練

「中学生は地域にとって宝物。やがて大人になって地域を支えるための“スタート”を育てることが大切」という校長先生の言葉通り、旭中学校では1年生全員が防災訓練に参加。地域の皆さんやボランティアの方々とともに、災害時を想定した各種訓練を体験してきました。真剣に取り組む中学生の姿が、地域の皆さんや学校関係者には大変頼もしく映っていました。来年度からは近隣の小学校も一体となった防災訓練になる予定で、地域と学校のつながりがさらに強くなっていきます。



▲非常食のおにぎりづくりにも挑戦！

また旭中学校では防災訓練以外にも、敬老会や老人会昼食会でのレクリエーション活動、地域清掃などに生徒が参加しています。地域が目指す、楽しい思い出いっぱい「ふるさとづくり」に向けて、若手世代の果たす役割がますます大きくなっています。



▲心肺蘇生、AED訓練にも取り組みました

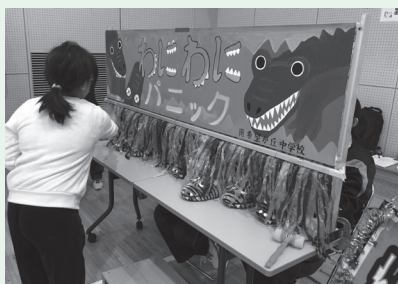
参加しよう!つながるう!元気になるう! 【第3期旭区地域福祉保健計画 基本目標より】

K.K. ネットまつりに参加 【南希望が丘中学校ボランティア】

希望が丘地区センターで「第18回K.K.ネットまつり」が開催され、371名が来場しました。(K.K.ネット=希望が丘、希望が丘南地区子育て応援ネットの会)

南希望が丘中学校の生徒1年生8名、2年生4名、3年生4名の計16名がボランティアとして参加。来場者の案内やゲームの担当、ポップコーンづくりなど、K.K.ネットのボランティアスタッフの一員としてお祭りを盛り上げました。

終了後、中学生たちからは「地域の方といっぱい触れ合えて楽しい時間になった」、「3年間ボランティアとして関わり、小さい頃は参加する側だったが裏方の大変さがわかった。でもそれ以上の楽しさを知ることができた」、「後輩たちに引き継いでもらい、もっとボランティアが増えてもらいたい」などの感想がありました。



▲ゲームのお手伝いは自分たちも楽しみながら



地域の中で頑張っ活動中! 【上白根中学校ボランティア部】

上白根中学校は全校生徒が161名。ボランティア部員は生徒の3分の1にあたる52名が登録しています。普段はそれぞれ他の部に所属していますが、招集がかかった時に、都合のつく生徒がボランティア活動に参加するという仕組みです。



▲一文字ごとに心を込める愛のはがき運動



▲校門横にある横断幕で地域との絆を表明

活動内容は地域の催しや防災訓練などで、赤い羽根共同募金の街頭募金活動にも積極的に参加しています。「愛のはがき運動」では地域の方々への暑中見舞いや年賀状を書いています。そんな活動の中でも、生徒たちは「はまっ子スクール」で小学生の子どもたちとふれあうことを楽しみにしているようです。

多い生徒は年間10回ほどボランティア活動に参加しています。上白根中学校ボランティア部は、横断幕にもある通り「地域の中で頑張っ活動中!」です。

子どもの頃から
地域活動に参加し、
誰もが地域の一員として
担い手となれる場の
拡大を目指す取り組みが
行われています。



地域のバザーで会計を担当 【希望が丘中学校ボランティア】

希望が丘東地区社協の主催で行われた「福祉バザー」では、希望が丘中学校の生徒が会計のお手伝いを担当しました。大勢のお客様が訪れて混雑する時間は大忙しでしたが、地域の皆さんと協力して、楽しく交流を深めることができました。



▲会計に並ぶお客様に手際よく対応していました

旭区社協会員紹介コーナー

朗読録音ボランティア「なみの会」

本会は視覚障害のある成人リスナー（聴取者）を対象にした音訳活動を行っているボランティア・グループです。「音訳」とは「音声訳」の略で、視覚障害者のために本や新聞などを朗読してCD・テープなどに収録、提供する活動のことです。「なみの会」では行政や関連団体からの支援、協力の下、区内の情報ガイドや新聞記事の音訳などを数多く扱っています。現在約40名のリスナーの内、約7割が旭区在住者となっています。

具体的な音訳活動には「読み・編集・制作・発行・



▲和気あいあいな「なみの会」の皆さん

配布」という一連の作業があり、会員が分担、協力しながら、お互いの技術向上にも努めています。特にテープからCDへ、アナログからデジタルへ変わっていく時代の“なみ”に対応するために、多くの時間をかけてPC操作を習得するなど、“なみ”以上の努力を重ねてきました。

現在は40代から80代までの会員約20名が所属し、「自分たちができることをいきいきと行い、それが福祉活動につながることに意義がある」という思いで、楽しみながら活動が続けています。また本年3月末まで、音声訳ボランティアの入会募集を行っています。地元の方々からの応募は大歓迎です。まずは月1回の定例会、勉強会を見学することからボランティア活動を始めてみませんか。お問い合わせは下記アドレスまでメールをお送りください。皆様のご参加をお待ちしています。

代表：横浜 邦男

●メールアドレス
naminokai@outlook.jp

●ホームページ
https://yokohama550.wixsite.com/naminokai